



スポーツの秋

今年も、秋にスポーツの大会やイベントが開催されています。地域で、市全体で、男女を問わず、子どもからお年寄りまで、爽やかな汗を流しています。

市では昨年に続き、国際交流運動会が開催され、市民と外国人が交流しました。台風の後で、心配された田村富士ロードレース大会も無事行われました。

来年のオリンピック・パラリンピックに向けて、ネパールパラリンピック委員会と事前キャンプに関する協定も締結しています。

ラグビーのワールドカップや、来年の東京オリンピック・パラリンピックなどで、ますます関心の高まるスポーツ。これを機にスポーツを始め、健康づくりや、新たな仲間づくりをするのも良いかもしれませんね。

運動会で国際交流

10月6日に田村市国際交流運動会が行われました。前日からの雨の影響で会場を市総合体育館に代えての開催でしたが、市内在住の外国人・FSGカレッジリーグ留学生たちと市民約200人が参加しました。外国人と市民が、それぞれの種目で、協力しあい・競い合っって爽やかな汗を流しながら、交流を深めました。



子どもから大人まで幅広い世代が参加しました

ネパールのオリンピック・パラリンピック代表候補選手と交流

9月14日から20日にかけて、東京2020オリンピック・パラリンピックネパール代表候補の選手たちが、ホストタウンである田村市で陸上競技の強化合宿を行いました。

トレーニングの合間には、福島パラ陸上競技協会や独立行政法人国際協力機構（JICA）、FSGカレッジリーグ等の協力により、芦沢小・美山小においてスポーツ・文化交流も行いました。



団体競技はみんなで協力

田村富士ロードレース大会 1000人超が駆け抜ける

10月20日、爽やかな秋空の中、第38回田村富士ロードレース大会が行われました。県内外の子どもから大人までの千人を超えるランナーが26部門にそれぞれエントリーし、秋の田村路で健脚を競いました。

大会結果は、田村市運動公園のホームページに詳しく掲載されています。



親子の部には市内外、多数の親子が参加

また、田村市・ネパールパラリンピック委員会・アスリートソサエティの3者で、「東京2020パラリンピック競技大会」事前キャンプに関する協定を締結。昨年のネパールオリンピック委員会と同様に、事前キャンプや同国パラ陸上選手の強化、継続的にスポーツ・文化交流を行うことが合意されました。

田村市も2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ネパールとの交流や機運醸成を図っていきます。



ネパールパラリンピック候補選手がトレーニング



青空の下、ゆったりと歩くウォークの部



ゲストランナーの安西秀幸さんが伴走



ゴールに向かってラストスパート



クロココースでトレーニングするオリ・パラ候補選手



小学校を訪問して児童と交流（美山小）

問い合わせ
教育部生涯学習課
☎ 81-1215